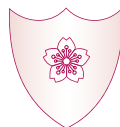




# 鳳鳴会会報



第35号  
2005. 6 .20

発行  
秋田県立大館鳳鳴高校  
鳳鳴会  
〒017-0813 大館市金坂後6  
TEL・FAX0186-44-5411  
URL <http://www.homei.jp>  
題字  
藤嶋省平鳳鳴会顧問  
印刷  
武内印刷株式会社

## 祝 大中学生設立 90周年 鳳鳴会総会開催

開校記念日である五月十日十七年度鳳鳴会総会が秋北ホテルにおいて今年も開催されました。風薫る爽やかな季節の中、例年をはるかに上回る一八〇余名の会員が参加しました。特に今年度は、大中学生（鳳鳴会の前身）設立、同じく校歌が制定されて九〇周年の二重の節目であり、近隣の大中出身の皆様以案内状を差し上げたところ、二十名の参加をいただきました。

総会は、ご逝去されました会員の皆様へそれぞれの思いを込めて黙祷を捧げることから始まりました。木村高明会長が、参加した皆様へ感謝の意をこめた挨拶をし、小松雅治校長からは現在の学校の様子が報告されました。文部科学省のスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）においての活動など次世代を担う後輩達の全国的な活躍ぶりが伝えられました。

引き続き、平成十六年度の事業（会務）、そして決算に移り、各委員長および事務局長が報告しました。十七年度事業・予算案（七頁掲載）も

原案どおり満場一致で承認されました。

総会後の特別企画では、現役の鳳鳴生である応援団がチャイニングなチャ・ガールと共に登場して、演奏とユルモアのある語りで日頃の練習の成果を披露し、私たち先輩を大いに楽しませてくれました。

続いて、佐藤信博さん（高29期）がピアノ演奏で校歌についての歌い比べを行ないました。現在の生徒が「百周年」を契機として原曲の楽譜に忠実に歌っているメロディーと、永い間歌われ続けて私たち同窓生に馴染みのメロディーとの違いを説明してくれたのです。校歌は私たち同窓生にとつて応援歌と共に世代を超えての共通の懐かしさであり、私たちの愛校心を育ててくれます。興味深い企画でした。

懇親会場前のロビーには、この日のために「大中懐古展」という名のもとに、昭和初期

の教科書、白線の入った制帽やマント、高足駄、過去に発行された各期の記念誌、古い写真など、鳳鳴会所蔵のものが公開され昔懐かしい縁の品々に、熱心に見入っている皆様の姿が印象的でした。

懇親会が始まり、乾杯の音頭は出席者の最長老の大中35期（昭和十三年卒）の佐藤啓治、斎藤稔、後藤照三郎の三氏が声高らかに取りました。応援歌を熱唱する大中の皆様は今なお健在なるパワーに圧倒されながら心させられ、時は過ぎました。最後に母校の更なる発展を祈念しつつ、愛校心を込めて全員で校歌を斉唱し、大中36期の浅野福造、畠山義雄の両氏による万歳三唱でお開きとなりました。

終わりになりましたが、高校17期を筆頭幹事とする幹事の皆様、大変ご苦労様でした。

広報委員 根田穂美子（高22）

### 平成17年度 事業計画

1. 会報35号（6月）、36号（2月）の発行
2. 各地区鳳鳴会への参加並びに旅費補助
3. 各地区鳳鳴会への補助金の支給
4. 母校の部活動強化のために助成金を贈呈
5. 新入会員に卒業記念品の贈呈
6. 「松下村塾カルチャースクール」の後援
7. 鳳鳴会会費データの管理強化

# 大町商店街の巻



シリーズ 11  
おじゃましまへす。

広報委員  
谷川原郁子 (高24)

今回は地元大館の老舗が並ぶ大町商店街の今をご紹介します。

すでにご存知のことと思いますが、OBの皆さんには郷愁を感じる東北唯一のデパート「正札竹村」が倒産して、早や四年が過ぎようとしています。

現在大町には、銀行三店舗県の出先機関である男女共同参画センター、昨年オープンしたビジネスホテルとその周辺の飲食店街等商業施設はありますが、大町のシンボルだった正札が閉じたことで、通りがガクンと減少、とても寂しくなりました。

正札ビルは昭和三十五年に新築され、だいぶ老朽化が進んでおり、外壁崩落等が心配されることや、大館の中心市街地である大町の衰退をなんとかしなくてはと、今、大町商店街、大館市及び市議会、大館青年会議所等が活発に動き、まちづくりを市民全体で

考える気運が高まっています。渦中の人、大町商店街振興組合金澤邦男理事長(高15期)にお話を伺いました。

「旧正札竹村ビルを市民活用場にしよう」を合い言葉に、自主的に署名活動をアメッコ市桜まつりに行い、一万人を突破。署名簿を市に提出し、行政の支援をお願いした。市内ばかりでなく、鹿角、二ツ井等市外の方からも『ぜひ再開してほしい』と熱い思いが寄せられ、反響の大きさに驚き、とても元氣付けられた。お年寄りが『大町までバスで来て、市立病院の後、正札の食堂で食事するのが楽しみだった。』

等を考え、お年寄りの話合いの場、市民学習室、高校生の列車待ちの勉強場所等、人が気軽に集まって来れる、心よりどころになるような施設をつくりたい。物販一本は厳しいため、複合的役割を持つ建物にしたい。

最初は改修して利活用を考

えていたが、ビルの老朽化や補修費用の金額の大きさから補助金が適用になる解体の方向に傾いている。今、市ではビルの取得の交渉を進めており、振興組合では組合員から募金を募って協力しようとしている。

金澤理事長は、この難題の舵取りに苦悩しながらも慎重にやられている様子でした。大町は歴史と伝統のある街、大館を代表する街なので、再び人の集まる元氣な街になって欲しいと願っています。OBの皆さん、一緒に応援よろしくお願いします！

追記 大館市六月定例議会補正予算でビル取得費一、九〇〇万円、防護ネット費一、三〇〇万円 計三、二〇〇万円が可決されました。



出席 185名の  
Document  
鳳鳴会  
総会・懇親会



# 海外だより

## シンガポール発

高39期 小林 巧

ローカルスタッフはシンガポール人の他、マレーシア人、中国人、インドネシア人、フィリピン人と多彩です。共通言語は英語ですが、中華系が多いため中国語もよく使われています。英語は独特の言い回しがあり、イングリッシュならぬシングリッシュと呼ばれることがあります。当初は戸惑ったのですが、一年たつと私もいつの間にかネバマイン、ケンケン、オックレーラー（never mind, can, can, OK, etc.）など話しています。そのせいか、まともな英会話が未だに出来ません。シンガポール政府はこのシングリッシュを気にしているようで、時折「Speak good English」という広告を出しています。

飲み物は当然ホットコーヒーか熱いお茶。しかしローカルスタッフはTシャツ一枚です。寒くない？と聞くと「ノーラ！（No-ah）」という答え。日常食の違いのせいでしょうか（ローカル料理は油と香辛料が豊富です）。

私はエンジニアとして八ヶ岳山麓でハードディスク部品の開発をしていましたが、昨年五月より生産拠点であるシンガポール工場へ勤務する事になりました。以来妻と共にシンガポールに来てから一年が経ちました。

シンガポールはマレー半島の先端に位置する縦二〇km横四〇kmの小さな島。私の勤務する工場はシンガポール西端にあり、窓からは対岸のマレーシアが見えます。工場では二・五インチと一インチのメディア（データを記録する円盤）を作っており、私はガラス基板に磁性膜を付けるスパス装置の管理を担当しています。

外が暑いためでしょうか、工場のオフィスは涼しいを通り越して寒いほどです。壁の温度計を見ると二十一度。設定温度を上げてもいつの間にか誰かが元に戻してしまいかつ落ち着く暇がありません。ローカルスタッフはみな陽気で職場の雰囲気は上々、国の垣根を越えて共に働く面白さを実感しています。もうしばらくはこちらで世界を、そして日本を眺めていきたいと思えます。

工場では装置故障などのトラブルが絶えないためなかなか落ち着く暇がありませんが、ローカルスタッフはみな陽気で職場の雰囲気は上々、国の垣根を越えて共に働く面白さを実感しています。もうしばらくはこちらで世界を、そして日本を眺めていきたいと思えます。

工場では装置故障などのトラブルが絶えないためなかなか落ち着く暇がありませんが、ローカルスタッフはみな陽気で職場の雰囲気は上々、国の垣根を越えて共に働く面白さを実感しています。もうしばらくはこちらで世界を、そして日本を眺めていきたいと思えます。

# シリーズ9 言葉の響きとシンボル

高29期 佐藤 信博



鳳鳴会懇親会で校歌の現行原曲版について説明する佐藤信博氏

校歌が今から九十年前、大正四年の前半中に制定されたことは当時の校友会雑誌の記録から明らかです。ところが『晩翠先生校歌集』に掲載された鳳鳴校歌には「大正三年三月」とあります。「月」まで記してあるのに一年ずれているのです。最近ようやくその出所が判明しました。

質朴（実）剛健の校風は開校当時からですが、文武両道の精神については、この大正四年以前、言葉としてはあまり強調されておらず、校歌において「維文維武」（これぶんこれぶ）という、格調を持った独特な響きで表現され、校是として明確になったと考えられます。

また鳳凰山の名は、大正四年以前の古い歌には意外に見当たりません。この校歌をきっかけに学校のシンボルとしての意識が強まったようです。翌年には校友会雑誌が「鳳凰」と命名され、ほどなく応援歌と命名され、ほとんど応援歌の烈風が登場します。

鳳凰山は長木村の地にあり、本来の大館市ではなかったのですが、合併後、山に「大」の字が描かれ市のシンボルのようになっていきます。その発想の背景には、鳳凰山を象徴化してきた「大」中の存在があったように思えます。ちなみに市章も、校章の盾の形を

## 歌の由来から見た 大中鳳鳴

## 祝 校歌制定90周年

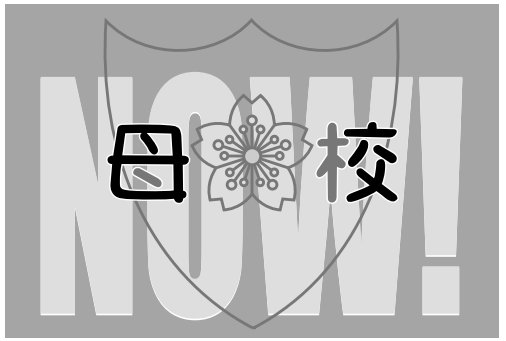
大正末年の『鳳凰』四十八号に略年表があり、大正三年度の欄の三月に「校歌制定」と明記があったのです。おそらくこの年表を見た人が、年度を年と勘違いして大正三年三月と誤り、それが『校歌集』に掲載されたと思われる。しかしこの勘違いのおかげで、今まで見過ごしていた年表から「大正四年三月」という制定時期を見出すことができました。

この大正四年は、学校にとって重要な画期であり、言葉やシンボルとの関連から校風が整え始められた年とも言えます。

質朴（実）剛健の校風は開校当時からですが、文武両道の精神については、この大正四年以前、言葉としてはあまり強調されておらず、校歌において「維文維武」（これぶんこれぶ）という、格調を持った独特な響きで表現され、校是として明確になったと考えられます。

また鳳凰山の名は、大正四年以前の古い歌には意外に見当たりません。この校歌をきっかけに学校のシンボルとしての意識が強まったようです。翌年には校友会雑誌が「鳳凰」と命名され、ほどなく応援歌と命名され、ほとんど応援歌の烈風が登場します。

鳳凰山は長木村の地にあり、本来の大館市ではなかったのですが、合併後、山に「大」の字が描かれ市のシンボルのようになっていきます。その発想の背景には、鳳凰山を象徴化してきた「大」中の存在があったように思えます。ちなみに市章も、校章の盾の形を



## 第2回 図書館編

母校の現状を同窓生に知らせようというこのコーナー。前回は、活動を停止してしまつた名門スキー部を取り上げた。その反響たるやさまざま、「名前載つてたね。中身は読んでないけど」、「スキー部、休部なんだって？中身は読んでないけど」、「長い文章だったねえ。中身は読んでないけど」などなど概ね好評だったようです。

それに気をよくして、今回が第二弾。「今回は、時代とともに移りゆく校内の風景をやつてみたい」と平泉事務局長に申し出たところ、取材にご同行いただけることになりました。正直に言つと平泉事務局長に同行してもらわないと、「校内に侵入した不審者」としてサスマタ（1）で取り押さえられちゃうかもしれ

ないので、非常にありがたかったです。

■ねえミーミン。  
なんだいノンノ。

平泉事務局長と記念館の二階で合流し、「さて、どこから見ればいすべか？」ととりあえず階下へ。記念館をご存じない同窓生もおられるでしょうが、今回は省略します。とにかく創立百周年の記念に講堂の西側に建てられた建物です。

記念館の二階が鳳鳴会の事務局になっていて、一階には図書館が移設されてきています。



進学情報も合格発表もインターネットの時代

いながら、ちよつとお邪魔しました。 一歩、入って驚いたのなんの。なにが驚いたってあいた鳳鳴高校の図書館にメンズ・ノンノ誌がジャーソンと並んでおられるではありませんか！



書店の雑誌コーナー？

ズ・ノンノが図書館の入り口に、いかにもさわやかな若者然として並んでいたのです。メンズ・ノンノと並んでこちらは女性向けファッション誌のノンノがありました。もう、驚きません。まあ、女子生徒の比率が高くなったという話は聞いていましたから、メンズ・ノンノのあとでノンノを見て、「そんなもんですか」ぐらいにしか思いませんでした。

いまだきの鳳鳴健児はファッショ雑誌見ながら、髪型を整えて登校したりなんかするんだらうなあ。女の子と並んで下校したりもするんだらうなあ。氷を割って泳いだりなんかしないんだらうなあ。中庭の雪に飛び込んだりしないんだらうなあ。講堂の二階から雪に飛び降りる猛者なんかいないんだらうなあ。新町にあった日活映画館の前であつた日活映画館の前で「お前、先に入れ」「お前から入れ」なんて小突き合ひもしないんだらうなあ。などなど、さまざま妄想が三倍速ビデオ

離れの高校生を図書館に招き入れる、いわば畏として雑誌コーナーはあるのだとか。購入雑誌の選定に当たっては、生徒から希望を採つたそうです。

■いまだきの高校生は正直だ

そういや、今の高校一年生は平成生まれなんでしょうか？

そこつうしているうちに終業時刻になつたらしく、図書館の掃除当番さんたちがゾロゾロと登場しました。そしてまた、驚きの光景を目の当たりにすることになります。 な、なんと。掃除当番さんたちが倉庫から出てきたのは、スクールホウキとチリトリという、在りし日の最強タッグではなく、掃除機だったのです。しかも、スティックタイプの。

クイーンという軽快な音とともに掃除機はホコリを舞上げることもなく、あつという間に図書館の消しゴムがすをきれいにしてしまいました。もちろん、チリトリからはずれたホコリをホウキで勢いよくはね散らかす生徒もいます。

この掃除機の登場には正直驚きました。（小見出しのオ



トリは使いません

手はここだったんですけど（）

■あるんですよ。ちゃんと

ここの自慢は「オックスフォード英英辞典」。県内でもこれを持つているのは秋田高校、横手高校と鳳鳴だけとか。床が抜けそうな全集モノ、百科事典、歴史書などの充実ぶりも高校図書館としては突出しているそうです。

前述の「オックスフォード」。過去に英語の教師が閲覧していたことが一度だけ確認されているそうですが、それ以外では虫干ししか開かれたことはないとのことでした。

■直筆です

数年前、図書委員会が著名作家に突撃手紙取材をしました。質問内容は「自分を変えた一冊は何ですか？」。直筆の返事は図書館の壁に飾られているので、いつでも見る事ができます。興味のある方はどつぞ図書館をお訪ねください。開かれた図書館を指す同館では、場合によっては同窓生への図書貸し出しもあるそうです。

さて、その直筆のお手紙ですが、井上ひさしさんの返事は万年筆でかかれてい

吉本ばななさんは、こんな字を書くのかあ。（ばななさんの本を読んだことがないのですが、好きな人にはたまらんでしょう）

んは作家じゃないでしょ？ま、いっか。

またまたガラガラと長いだけの文章になってしまいました。最後までおつきあいください。ほんとうに感謝いたします。それにしても、図書館だけでも、こんなにジェネレーションギャップがあるんですねえ。

広報委員 小池昌平（高36）

有名作家の直筆手紙が壁に



井上ひさし氏



吉本ばなな氏



駿氏

蒔苗 誠 (副会長)	財政委員会
乳井 宏資 (高10)	
高橋 彰彦 (高6)	
庄司富佐男 (高8)	
菅 大輔 (高16)	
武内 良文 (高36)	
明石 宏康 (高37)	
工藤 哲雄 (事務局長)	
松江真由美 (会計)	

平成17年度5委員会名簿

印は委員長 印は副委員長

赤平 一雄 (高20)	ホームページ運営委員会
小棚木政之 (高38)	
加賀 佐 (高34)	
米澤 正貴 (高41)	
三浦 孝之 (高48)	
高田 典雅 (事務局長)	

桑名 秀明 (副会長)	企画委員会
菊池 和夫 (高2)	
江長 成 (高45)	
山田 亮逸 (高1)	
浜松 和男 (高4)	
菅原 準一 (高13)	
宮崎 博文 (高13)	
成田 加奈子 (高14)	
戸枝 正樹 (高19)	
武田 幹夫 (教頭)	
菅原 明雅 (総務部長)	
高田 典雅 (事務局長)	

小泉 楨子 (副会長)	広報委員会
小松 宰 (高15)	
根田穂美子 (高22)	
谷川原郁子 (高24)	
柴田 司 (高27)	
小池 昌平 (高36)	
小棚木政之 (高38)	
五日市栄悦 (教頭)	
赤坂可奈子 (事務局)	

佐藤 祥男 (副会長)	名簿委員会
土田 哲 (高3)	
武内 政雄 (高45)	
田中 京子 (高9)	
三ツ倉和雄 (高11)	
山田 和人 (高29)	
菅原 明雅 (総務部長)	
高田 典雅 (事務局長)	

## フグのメソポタミア

荒谷 浩 (大43期)

中込富雄という先生はフグのあだ名のとおりふくれておった。

どつしたことが、当時入ったばかりの一年C組に、国史(今の日本史)を教えてくれた。その一時間め、「高天原はメソポタミアにあった」と断言された。この時の感激は今なお鮮烈である。

中学校ははつきり小学校と違つと認識させられた。その年、

昭和十六年(一九四一年)の十二月、戦争に突入したことを思えば、フグの一言千金の重みあり、だ。

所が、名簿によれば、四月二十二日に転出している。しかも専攻国語とある。きつと、一時間の学恩だつたらう。

教育というものの不可思議を思つのである。

1...時代劇で役人たちが下手人を取り押さえるときに使うU字型の金属部分に長い柄がついている武器。校内侵入者対策として全国の小中学校に常備されている。

バンカラで知られた鳳鳴高校のしかも学校図書館に。メンス・ノンノですよ。男性向けファッション雑誌界のチャート式とまで呼ばれたメン

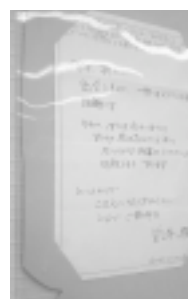
オのように駆け回る36期なわけです。

案内してくれた司書の小林光代さんの説明によると、図書館の移設にともない、活字



ハウキ、チリ

そしてなにより驚いたのはアカデミー賞監督の宮崎駿さん。映画の製作過程を写したドキュメンタリー番組でよく目にした字体。でも、宮崎さ



宮崎

**祝 叙 勲** このたび春の褒賞受章者発表があり、大中45期卒業の保護司渡邊昭氏が厚生保護功績で藍綬褒章を受章した。渡邊さんは昭和22年から郵便局に勤務し、昭和53年から保護司となり、現在は最後の任期を務めている。平成11年には法務大臣表彰を受けた。おめでとうございます。



に会報で紹介したが、普津澤君は在校中に全国の漫画コンクール「第2回NBS高校生まんがグランプリ」で最高賞を受賞している。現在、東京で漫画家のアシスタントをしているが今後ますますの活躍を祈念する。

**鳳鳴 短 信** 新しい理事の紹介 今年に入ってから、各期の理事の交替や委嘱があったので紹介する。

**寄 贈 品** 大阪府富田林市の石田雅俊氏(高校16期)は、台湾在住の何輝澤画伯の掛け軸を記念館に寄贈した。梅の木の絵に王安石の絶句「梅花」の讚のあるすばらしい掛け軸である。2月末の常任理事会で披露された。

**寄 贈 図 書** 詩文集『山河遥かに』平成15年5月29日発行、詩文・版画絵集『青き山路(やまみち)』平成17年5月29日発行、庄司善徳著(高校8期)本人より寄贈。『青き山路』のあとがきより抄「詩と短歌と木版画による暑中見舞状・年賀状・書票・詩絵など、それに、ふるさどに関わる小文などを一冊に纏めることとなった。...編集・印刷・装丁・製本、つまりこの本の造本に関わるすべての作業を、パソコンと戯れつつ著者一人で行なったものである。」写真集『光と影』-モノクローム景色光画-2005年3月1日・無明舎出版発行、宮野明義著(高校19期)本人より寄贈。あとがきより抄「高校3年になって写真部に入部した。秋の文化祭に展示する写真を撮影しなければならなくなり、夏休みに森吉登山を計画した。...その時の撮影になるのが本書にも収録した「高畑」「冠岩」である。」

・13期明石満 宮崎博文・14期長岐利堅 平泉勝也・17期伊東恵美子 伊東良裕・18期川田幸子 小田春幸・22期佐藤真知子 根田穂美子・27期佐藤文彦 中村博美。

会長から新しく委嘱された常任理事、菅原準一(13期) 同じく理事、加賀佐(34期) 武内良文(36期) 岩澤重人(37期) 三浦孝之(48期)。

これまで理事を務められた方々に感謝申し上げ、新しく就任された理事の方々の今後の活躍を期待したい。

事務局変更

札幌鳳鳴会の事務局が、和田稔副会長(高校4期)から、阿部徹幹事長(高校15期)に引き継がれた。和田氏は幹事長時代からの事務局で長期間にわたって尽力された。その功績に敬意を表する。

母校教職員の異動

3月発表の人事異動で鎌田健一教頭(高校18期)が横手高校教頭、佐藤博事務局長が花輪高校事務局長として転出された。替わりに能代工業高校から武田幹夫教頭、大館少年自然の家から工藤哲雄事務局長(高校17期)が赴任された。

また、野球部部長であった渡部金一教諭(高校15期)と理科の柳谷和子実習教諭が退職された。永い間ご苦労様でした。

**同 窓 動 静** 普津澤画乃新君(高校56期)は、5月16日発売の週刊「少年ジャンプ」の発表によると集英社「ジャンプ十二傑新人漫画賞」を受賞した。受賞作品の「JIKANGAE」は、同誌が増刊号に掲載されることになっており、念願のプロデビューを果たすことになった。以前

から、各期の理事の交替や委嘱があったので紹介する。

・13期明石満 宮崎博文・14期長岐利堅 平泉勝也・17期伊東恵美子 伊東良裕・18期川田幸子 小田春幸・22期佐藤真知子 根田穂美子・27期佐藤文彦 中村博美。

会長から新しく委嘱された常任理事、菅原準一(13期) 同じく理事、加賀佐(34期) 武内良文(36期) 岩澤重人(37期) 三浦孝之(48期)。

これまで理事を務められた方々に感謝申し上げ、新しく就任された理事の方々の今後の活躍を期待したい。

事務局変更

札幌鳳鳴会の事務局が、和田稔副会長(高校4期)から、阿部徹幹事長(高校15期)に引き継がれた。和田氏は幹事長時代からの事務局で長期間にわたって尽力された。その功績に敬意を表する。

母校教職員の異動

3月発表の人事異動で鎌田健一教頭(高校18期)が横手高校教頭、佐藤博事務局長が花輪高校事務局長として転出された。替わりに能代工業高校から武田幹夫教頭、大館少年自然の家から工藤哲雄事務局長(高校17期)が赴任された。

また、野球部部長であった渡部金一教諭(高校15期)と理科の柳谷和子実習教諭が退職された。永い間ご苦労様でした。

から、各期の理事の交替や委嘱があったので紹介する。

・13期明石満 宮崎博文・14期長岐利堅 平泉勝也・17期伊東恵美子 伊東良裕・18期川田幸子 小田春幸・22期佐藤真知子 根田穂美子・27期佐藤文彦 中村博美。

会長から新しく委嘱された常任理事、菅原準一(13期) 同じく理事、加賀佐(34期) 武内良文(36期) 岩澤重人(37期) 三浦孝之(48期)。

これまで理事を務められた方々に感謝申し上げ、新しく就任された理事の方々の今後の活躍を期待したい。

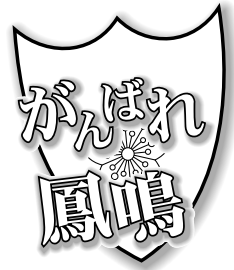
事務局変更

札幌鳳鳴会の事務局が、和田稔副会長(高校4期)から、阿部徹幹事長(高校15期)に引き継がれた。和田氏は幹事長時代からの事務局で長期間にわたって尽力された。その功績に敬意を表する。

母校教職員の異動

3月発表の人事異動で鎌田健一教頭(高校18期)が横手高校教頭、佐藤博事務局長が花輪高校事務局長として転出された。替わりに能代工業高校から武田幹夫教頭、大館少年自然の家から工藤哲雄事務局長(高校17期)が赴任された。

また、野球部部長であった渡部金一教諭(高校15期)と理科の柳谷和子実習教諭が退職された。永い間ご苦労様でした。



数字は学年

- 四〇〇M 一位……根本優姫
- 全県高校総体
- 「男子」
- 二〇〇M 四位……若松訓史
- 五位……藤原聡一
- 六位……鈴木洋介
- 四〇〇M 二位……藤原聡一
- 一位……菅原隼人
- 二〇〇M 四位……高松一裕
- 二位……菅原隼人
- 四〇〇Mリレー 三位
- 一六〇Mリレー 一位
- 総合 五位
- トラック部門 二位
- 「女子」
- 四〇〇M 五位……根本優姫
- 四〇〇M 四位……根本優姫
- 一五〇〇M 三位……田中公美子
- 三〇〇M 五位……田中公美子
- 走高跳 六位……畠山万里衣
- 混成7種 五位……越後谷彩花
- サッカー部
- 東北高校総体 優勝
- ラグビー部
- 東北高校総体 優勝
- 男子バスケットボール部
- 東北高校総体 三位
- 男子バドミントン部
- 東北高校総体 準優勝
- 男子剣道部
- 東北高校総体 準優勝
- 女子剣道部
- 東北高校総体 三位
- 水泳部
- 東北高校総体 三位
- 東北高校総体
- 四〇〇M自由形 一位
- 「男子」
- 八〇〇M自由形 一位
- 田山穂高
- 二〇〇Mバタフライ 一位
- 田山穂高
- 二〇〇M個人メドレー 一位
- 貝森亮太
- 二〇〇M自由形リレー 一位
- 藤盛大幸
- 八〇〇M自由形リレー 一位
- 四〇〇Mメドレーリレー 一位
- 総合 準優勝
- アーチェリー部
- 団体 一次予選
- 「男子」
- 個人 一位……村上龍希
- 個人 三位……青柳健隆
- 「女子」
- 個人 二位……平澤麻唯
- 全県高校総体
- 「男子」 団体 優勝
- 個人 二位……青柳健隆
- 三位……村上龍希
- インターハイ出場
- 「女子」 団体 三位
- ソフトテニス部
- 全県高校総体
- 「女子」
- 個人 六位……多賀谷千草
- 多賀谷千草
- 「男子」
- 個人 二位……村上龍希
- 三位……青柳健隆
- インターハイ出場
- テニス部
- 全県高校総体
- 「女子」 団体 準優勝
- 「女子」 団体 準優勝
- 全県高校総体
- インターハイ出場
- 全県高校総合体育大会
- ボスター採用……藤原佳恵
- SSH(スーパー・サイエンス・ハスケット)
- 国際生物オリンピック第二次国内選考試験(千葉県) 参加
- 参加
- 虹川修士
- (全参加者三二四人中、合格者上位十人という難関を東北でただ一人九位で突破したが、残念ながら北京で開かれるオリンピック出場者の四人には選ばれなかった)

# 会員寄稿

## 南米に外交官石井忠吉の足跡を訪ねて

石井 宏作 (高校11期)

堂に、全校生徒と地域の人々がほとんど集まり、講演を聞きまし。東京高商(現一橋大)に進み、外交官試験をパスし、希望通り、高島屋飯田に入社しました。しばらくして名門の飯田家より婿養子の要請があり親族会議では、大変もつたない話だと全会一致で決定したそうですが、忠吉は、子供の頃から夢の実現の為に、この話をことわって、アルゼンチンへ行ったのです。向こうでは高島屋飯田ブエノスアイレス初代支店長から転じてアルゼンチン公使館の書記官を務めるのち現地で実業家となり大成を収めました。

ある先輩から聞いた話ですが、大館のどこにもあまりピノがなかった頃、鳳鳴にピノを寄付したそうです。忠吉の娘婿の井上四郎氏

大中の一期生に、十二所出身で石井忠吉という大変ユニークな人物がいました。

南米アルゼンチンまで、その足跡を訪ね、調査に今回頭てきました。石井忠吉は、小生にとって、小さい頃から大好きな、そしてあこがれであり、かつ尊敬する人物でした。

子供の頃、アルゼンチンから十二所に帰ってくると、今でいえば、さながら月世界からでも戻ってきたような正に郷土の英雄でした。学校の講

功を収めました。

忠吉の私生活は非常に質素だったそうです。又アルゼンチンに行く前に、忠吉の娘婿の井上四郎氏



忠吉の五女早苗さん(右端)の家族が経営する陶器工場にて 左から2番目が筆者

平成十六年度進学状況

今年の卒業生は二六一名で進学希望者が二五五名、就職が六名(全員決定)でした。

国立大学の合格者は一三七(一三〇)名、私立大学は二五五(一三三)名、短大は三三(一一)名でした。国立大学の合格率は五六・七%は過去最高でした。なお、国立大学の進学者は一一九名、私立大学の進学者は九一名で、四年制大学進学者合計二一〇名は、卒業生の八〇・五%に当り、横手高校に次いで県内二番目でありました。( )内は実数、主な大学の合格者数は次のとおりです。

- 【国立】北海道2、弘前25、岩手17、東北9、秋田16、山形4、福島3、茨城3、筑波2、埼玉5、東京3、東京工業・お茶の水・東京外語各1、電気通信・横浜国立・新潟各2、金沢3、秋田県立7
- 【私立】東北学院17、東北薬科5、青山学院2、慶應・国際基督教各1、東京理科2、法政5、明治7、早稲田2、同志社1、立命館7

地区会名	会長	事務局	住所	電話
東京鳳鳴会	村上 芳明(高14)	工藤禮次郎(高5)	〒102-0074 東京都千代田区九段南4-3-3 棟24スタジオ内	03-3221-4766
仙台鳳鳴会	小笠原明哉(高5)	大高 剛一(高23)	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2-2-78 サンチュリー(櫛内)	022-262-2885
札幌鳳鳴会	関 信弘(大37)	阿部 徹(高15)	〒069-0833 江別市文教台15-5	011-387-6363
名古屋鳳鳴会	相馬 通明(高8)	工藤 博道(高25)	〒448-0013 愛知県刈谷市恩田町6-62-2	0566-27-0648
青森大中鳳鳴会	安井 稔(高10)	高橋 一己(高31)	〒030-0944 青森市大字筒井字八ツ橋1293-26	090-9632-7176
秋田市鳳鳴会	野口 修平(高17)	柴田 司(高27)	〒010-0933 秋田市川元松丘町4-59 武内印刷(櫛内)	018-862-8754
能代鳳鳴会	佐藤 貞三(高8)	北林 孝(高21)	〒016-0171 能代市河戸川字上相染下16	0185-52-9453
鹿角市鳳鳴会	佐藤 一(高2)	清水 順義(高15)	〒018-5201 鹿角市花輪字下中島113	0186-23-6623
鷹巣鳳鳴会	樽森 正(高12)	中川 真一(高26)	〒018-3315 北秋田市宮前町9-69 鷹巣町保健センター内	0186-62-6666
森吉町大中鳳鳴会	金 与恵門(大42)	桂 邦夫(高8)	〒018-4301 北秋田市米内沢字御嶽50-1	0186-72-3582
阿仁鳳鳴会	濱田 章(大40)	福島 晴(高7)	〒018-4613 北秋田市阿仁銀山字下新町5-8	0186-82-3115
田代鳳鳴会	猪野 慶(高4)	中村 勇(高19)	〒018-3501 大館市岩瀬字大柳86-2	0186-54-2608
比内大中鳳鳴会	佐藤賢一郎(高18)	米澤 健一(高3)	〒018-5701 大館市比内町扇田字中扇田18	0186-55-0602
小坂鳳鳴会	川田重三郎(高7)	近藤 肇(高26)	〒017-0292 小坂町役場 農林振興課内	0186-29-3912

四月二十二日、ポール牧さん自殺、のニュースが飛び込んできた。もう十五、十六年前のことだが、私と友人数名は小坂町にテレビ番組のロケに来ていたポール牧さんに遭遇した。少し離れたテーブルの様子を伺っている内、ひとりが「鳳鳴のOBらしい」と言つたので私は「指パッチンが先輩な訳はない」と疑った。真偽を議論する間もなく友人は直接聞いてくると席を立ち、間もなく手招きするので残り全員がポールさんの前にモジモジと並んだ。

「君たちも鳳鳴の後輩か、どうりでみんな賢そうな顔をしているよ！」失礼を承知でナブキンにサインを貰った。達筆な字で「ド

ランの下に涙の喜劇人」と書いてあったが、お笑い芸人は根からの面白い人種であると思つていた私には深く理解できなかった。そして母校百周年記念の式典会場で白装束に坊主頭のポールさんを見つけ、またも無礼に「先輩、例の奴をお願いします」とカメラに向かって指パッチンをせがんだが嫌な顔もせず応えてくださった。「彼は卒業生ではないよ」という声も耳にしたが、実家が北海道のお寺でその修行時代に大館におり、鳳鳴の定時制にわずかながら在学していたというところで、共に「森吉の嶺」を歌つた仲間が声を掛け馳せ参じ、そのことをとても喜んでたという。また「鳳鳴に定時制があつたことを忘



れないでほしい」とも言われていたらしい。正面から強いスポットライトを浴びる人の背中にはその分強い影が出るが、誰もそれを見ることは出来ない。ひとの内面を知る術はないが、私もあれから幾分歳を重ね、

このメッセージが何となく分かるような気がする。合掌。ドーランの下に涙の喜劇人 ~ポール牧さんのこと~ 小棚木 政之 (高校38期)

- 平成十五年二月 茂林 茂さん(高3期)
平成十五年七月 折居 眞さん(大29期)
平成十五年十月 宮越 重勝さん(大35期)
平成十五年十一月 細川 猛さん(大43期)
平成十六年一月 清水 貞和さん(高10期)
平成十六年二月 松岡 久文さん(高1期)
石川 勝也さん(高3期)
平成十六年三月 大里 武雄さん(大29期)
沢口小笠原秀郎さん(大42期)
平成十六年四月 村谷(田中)三さん(高5期)
柳谷 貞男さん(高2期)
齋藤 修さん(高26期)
藤田 一郎さん(大41期)
神成 禎祥さん(高7期)
田中 茂壽さん(高7期)
齊藤 正雄さん(大37期)
平成十六年五月 木村 朝一さん(高8期)
浅利 幸雄さん(大37期)
平川 哲男さん(高8期)
山城 和雄さん(高2期)
平成十六年七月 山本 瑞男さん(高10期)
山本 寅雄さん(高9期)
越前谷 恂さん(大26期)
平成十六年八月 松屋 毅さん(高4期)
武田 敷田善弥さん(大35期)
平成十六年九月 須藤 春さん(高15期)
明石 榮一さん(大34期)
山口 弘義さん(大45期)
小林 勝美さん(大46期)
平成十六年十一月 舛谷 次郎さん(高41期)
池田 勇さん(大45期)
桜庭 豊司さん(高29期)
富山 忠さん(高8期)
北林 久俊さん(大38期)
齋藤 一雄さん(大32期)
平成十六年十二月 中内中村睦子さん(高9期)
西村 久平さん(大43期)
佐藤 喜勇さん(高7期)
工藤 貞一さん(大38期)
飯田 重孝さん(高1期)
岩沢 雄三さん(大36期)
平成十七年一月 加賀谷亮造さん(大43期)
北林佐木雄さん(大38期)
平成十七年三月 越前谷則夫さん(高17期)
松本 康男さん(大40期)
大和 正弘さん(高3期)
(事務局届出分)

平成16年度 鳳鳴会会計決算書 自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日

Table with columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 繰越 (Carryover). Includes sub-sections like 総務費 (General Administration), 会報発行費 (Newsletter), 事業費 (Business Expenses), 積立金 (Reserve Funds).

平成17年度 鳳鳴会会計予算書 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日

Table with columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 繰越 (Carryover). Includes sub-sections like 総務費 (General Administration), 会報発行費 (Newsletter), 事業費 (Business Expenses), 積立金 (Reserve Funds).

その日の東京は蒸してはいるものの、この時期にしては肌寒いほどだった。京王プラザホテルに着くと、「鳳鳴」の文字。大館の鳳鳴会の受付よりも規模が大きく期待感が高揚する。大館から来たことを告げると当番期

五月晴れの五月二十一日、仙台鳳鳴会に参加するため、初めて仙台に降り立った。会場は東北大学医学部キャンパスの向かいにある同医学部、良陵会館。仙台鳳鳴会の方々に温かく迎えていただき、控え室に入って一番最初に感じたのは楽しそうに話をしている若い世代の姿が多かったことでした。同窓会では常に

総会前には新入会員歓迎懇談会が行なわれ、今春卒業したばかりの57期生を囲んで参加者の自己紹介などが行われたが、「声が小さい」と気合いが入り新人諸君は緊張しているようだ。しかし彼らはリラックスさせようと腐心されている先輩方に失礼な言葉遣いをしており、私は内心ヒヤヒヤしていたが、実は凄

肩書の人ばかりだということを知らないと思うので、少し緊張するくらいが丁度良いのかな? と思ったりもした。結局二十六名の新入会員が参加したが遅刻する者も多く、やはりもっと採まれるべきだろう。東京鳳鳴会顧問の武藤正さん(高2期「前会長」)は「大館の標準語、でいい。」と上京したばかりの後輩を氣遣われた。(が、最近の若者は「正しい大館弁」を話せない)ので、私はそちらが心配。また「当初は就職の世話や生活の支援もしていた。鳳鳴会には何か困った時にきてほしい。」と東京鳳鳴会の成り立ちを紹介されたが、何と心強いことだろうか! 新入会員からは、「国際機関に勤務したいが、今すべきことは?」などと意外に(失礼!)真面目な質問が多く頼もしく感じ



と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

和気さつ。ついで事業報告や予算案などを審議した後、昨年末で会長を務めた奥田惇二氏(高4期)の顧問就任を承認し、定時総会は終了した。いよいよメインイベントの懇親会・新同窓生歓迎会。我々を含めて四十二人であったが、そのうちの七人が新入会員というフレッシュな顔ぶれ。山口仙台鳳鳴会副会長が「なかなか世代を超えてつながりを持つのは難しいことだが、鳳鳴会を通じてどんどん交流していったほしい」とあいさつ。続いて武田教頭より高校総体の成績や昨年度の進路状況など学校の近況を報告後輩たちの好成绩に「おっ



と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め



と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め



と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

と題して講演を行い、現況や合併に至るまでの話などを披露された。懇親会は総勢約一八〇名で、篠山鳳鳴同窓会関東支部から山口博美支部長ら三名、また大館や能代の各高校同窓会からも多数参加いただき大いに盛り上がった。大館から参加された母校元教諭の小番厳先生などを囲んでの懐かしい話題に花を咲かせる姿があちこちで見られた。「一度も東京鳳鳴会を休んだことはない」と仰しやる大43期の石川貞蔵さんは、「昔から二〇〇〜二五〇名の会だった。」と話され、改め

校了!

節目の年のせいでしょうか。今年の総会は欠々に参加者が多く、大盛会でした。校歌4番を片手をふりかざして唄う大中出身大先輩に脱帽でした。今回の編集にいつもより若いスタッフに加わっていただきました。在校生は58期~60期ですから!!。紙面から若さを感じてもらえれば幸いです。広報委員長 小泉 槿子(高16)

札幌鳳鳴会の予告

日時 平成17年10月1日(土) 午後5時
会場 札幌第一ホテル (中央区大通り西9丁目)
会費 7,000円 (年会費2,000円含む)
事務局 阿部 徹 (電話011-387-6363)

INFORMATION

松下村塾園遊会のご案内

日時 平成17年7月23日(土) 午後4時30分
会場 竹村記念公園「松下村塾」大館市北神明町6(一中通り)
会費 3,000円
申込み 大館鳳鳴高校事務室(松江) TEL 0186-42-0002 FAX 0186-49-2044
締切 7月20日(水) どなたでも参加できます。
主催 (財)大館鳳鳴高等学校振興会 大館鳳鳴高等学校鳳鳴会